これからの25年

歴代誌第一 22:1-19

導入

会見の幕屋と契約の箱

ダビデはソロモンが神殿を建てるための準備をした―歴代誌第一22:1-5

神殿のためのダビデの準備

ダビデの動機は、神殿を通して神の偉大さを目の当たりにすることだった―歴代誌第一22:5-10

その務めは、預言の成就としてソロモンに引き継がれた―歴代誌第一22:8-9

将来の計画についての教訓

ダビデは、自分が神殿を建てることはないと分かっていても、将来の計画を立てた。

今日の計画は、将来の世代が享受するものに影響を与える。

1. 私たちは今、将来のために計画しなければならない

一日一日を生きることは大切だが、明日のために計画することも必要である。

私たちの教会が現在受けている祝福は、過去の計画と犠牲の結果である。

2. 私たちは今、将来のために投資しなければならない

ダビデは、礼拝のための恒久的な場所を用意するために、自分の富を投じた。

3. 私たちは今、将来の指導者たちを備えなければならない

ダビデは、教え、資源を提供し、支援を結集することによってソロモンを備えた。

若い男性と女性を訓練し励ますことは、将来の指導者のために不可欠である。

若い世代は、教会の将来について責任を問われることになる。

将来に対する個人の責任

若者たち：教会における将来の責任に備える。

既婚者と独身の成人：今、教会を導き、教え、与え、建て上げる。

高齢の聖徒たち：遺産を振り返り、これからも先を見据える。

死後に神を敬うため、財産の分配を計画する。

生涯を通じて、また遺言において、最初の分を主にささげる。

教会に対する私たちの stewardship について、どのように裁かれるかを考える。

教会の将来は、今日の計画と投資にかかっている。